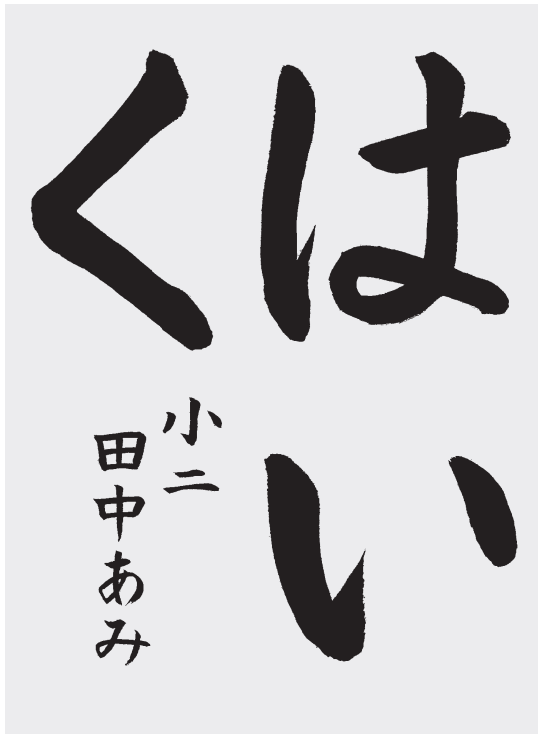


〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

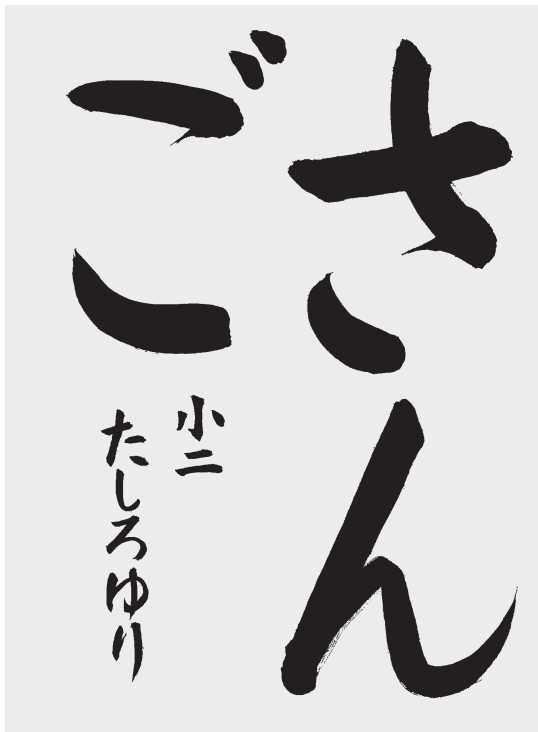


北村白琉先生

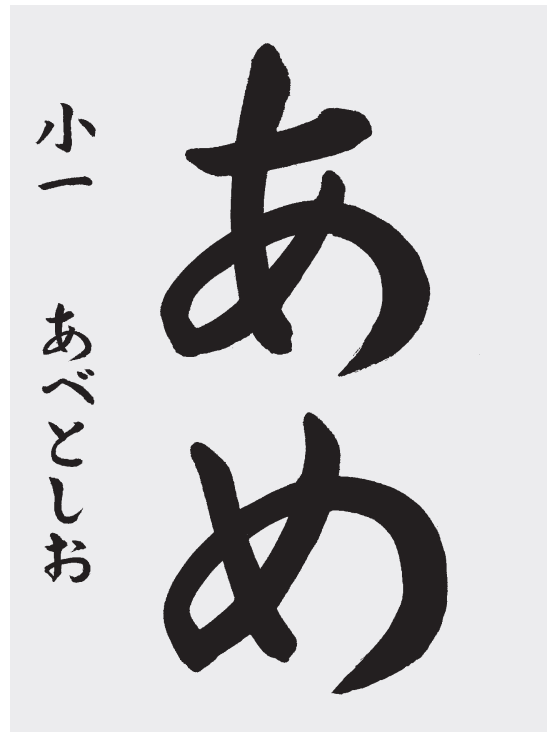
幼・小学1年参考手本



田中扇溪先生



田村鄭雲先生



千葉蒼玄先生

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

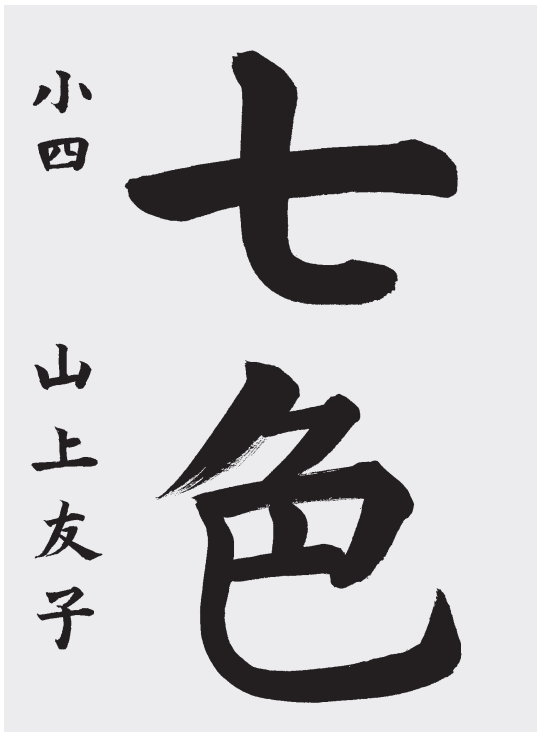


柳橋香仙先生

小学3年参考手本



佐藤希雲先生



広瀬舟雲先生



前田龍雲先生

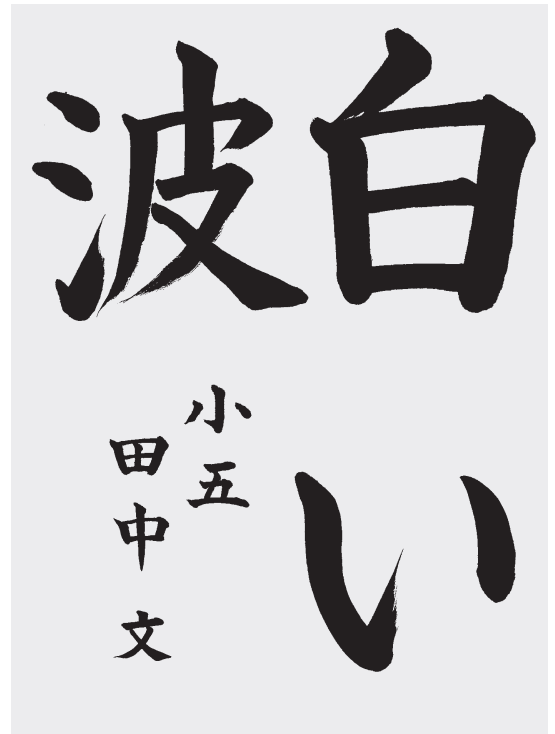
〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



三浦鄭街先生

小学5年参考手本



大町青蓮先生



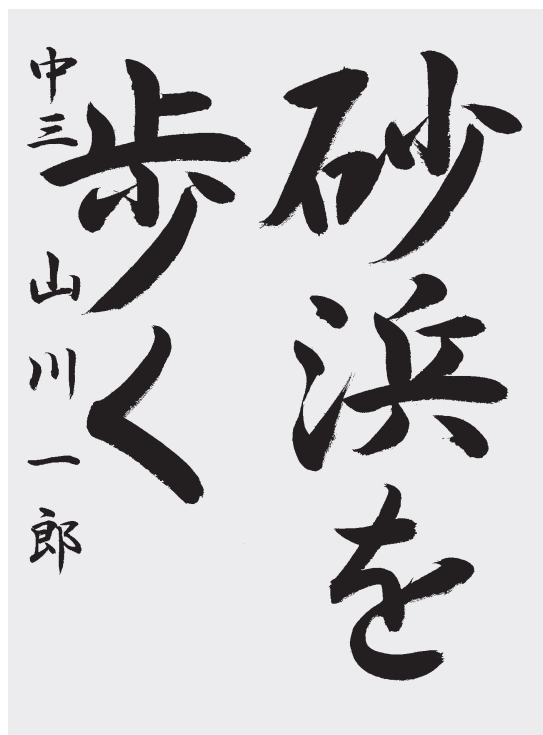
種谷萬城先生



川島舟錦先生

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



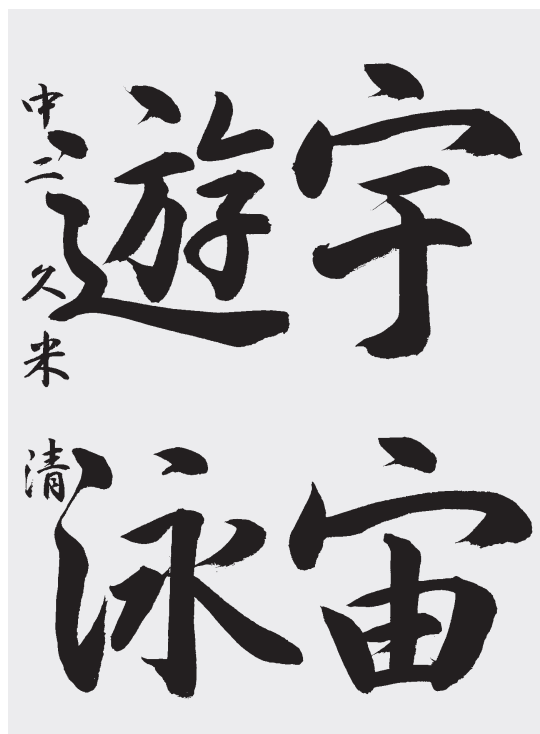
大平 邑峰 先生



倉林 紅瑤 先生



小島 孝予 先生



小竹 石雲 先生

毛筆参考手本解説(1)

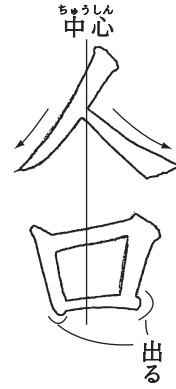
1年



〈へげん〉
乃乃のの

の(教)

3年



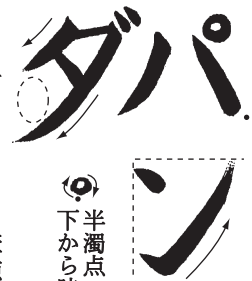
人口(明)

人口(教)

人口

出る

4年



とめる

半濁点
下から時計まわり

パンダ(明)

パンダ(教)

パンダ

〈字源〉

ハハ

U撥音符号
からん

多夕

5年



出る

〈筆順〉

白

白

白

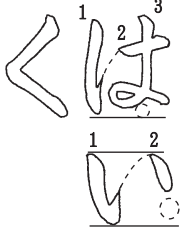


2年



〈へげん〉
安安ああ女女め

あめ(教)



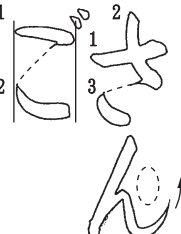
〈へげん〉

波波は

以以以

久久久

はいく(ヨ)はいく(明)はいく(教)



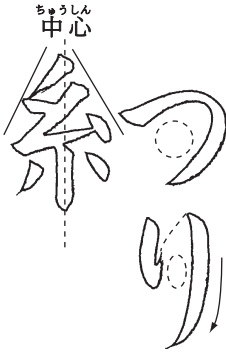
〈へげん〉

左左ささ

无无えん

己己ここ

さん(七)さん(明)さん(教)



つり糸(明)

つり糸(教)

つり糸

〈へげん〉

川川つ

利利あり

〈ひつじゅん〉

くゑん

中心



とめる

七色(明)

七色(教)

七色

〈筆順〉

一七

ノクム

名名色

中心



等間かくに

林間(明)

林間(教)

林間

〈筆順〉

十木村

林

丨丨丨

門門間

間

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

毛筆参考手本解説(2)

6年

等間かく

健康(ヨ) 健康(明) 健康(教)

〃の中心よりも やや右よりに

健康(ヨ) 健康(明) 健康(教)

わずかに出す

文化財(ヨ) 文化財(明) 文化財(教)

浅く接する

とめる

中学

やさしい行書

砂浜を 歩く

つながる気持ち

砂浜 歩

点画の方向や 形が変化し 直接つながる

宇宙 遊泳

点画の連続

点画の変化 軽くとめる

適切(ヨ) 適切(明) 適切(教)

適切(教) 適切(明) 適切(ヨ)

許容 方向

折れ

折れ 払い 切

おみ

突き返す

つながる気持ちで のびやかに 「こ」をやや小さめに書いて 「し」をのびやかに払う

ひらがなの字源 (404)

し	こ	み	お	字源
之	己	美	於	字
之	己	美	於	形

「国語科書写の理論と実践」
 全国大学書写書道教育学会編より転載

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆 参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名		み		花	
		ん		だ	
段・級		な		ん	
		で		の	
学 年	二	と		ぜ	
		り		っ	
名 前	谷川あやと	ま		草	
		し		を	
		た。			

支 部 名		い			
		え		も	
だん・きゅう		が		り	
		あ		の	
がくねん		り		な	
	一	ま		か	
		す。		に	
なまえ	つじのしゅう				

中心
草 (ゴ) 草 (明) 草 (教)
長 草 (H) 草 (明) 草 (教)
草 (H) 草 (明) 草 (教)

花 (ゴ) 花 (明)
花 (教)
入る方向にちゅうい
つめ まがり
ハナハナ花

あ (ゴ) あ (明) あ (教)
中心
「とめ」「はらい」にちゅうい
「花」「草」の字形をただしくかきましよう。

に (ゴ) に (明) に (教)
つづけるきもちでかく

な (ゴ) な (明) な (教)
中心
四かくめのいちにちゅうい
つづけるきもちで
かたちをよくみて、ていねいに書きましよう。

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支部名	で	い	
	行	海	大
段・級	き	原	き
	ま	を	な
学 年	し	ゆ	白
名 前	た。	っ	い
		く	船
		り	が
		進	
		ん	青

支部名	で	
	家	兄
段・級	に	と
	帰	友
学 年	り	だ
名 前	ま	ち
	し	と
	た。	三
		人

中心
原
原(3) 原(明) 原(教)
筆順
厂 厂 厂 原 原

中心
海
海(3) 海(明) 海(教)
筆順
シ 汫 汫 海 海 海

船
船(3) 船(明) 船(教)
筆順
舟 舟 舟 舟 舟

筆順に気をつけて、字形を整えましょう。

帰
帰(3) 帰(明)
筆順
とめ
ひっじゅん
リ 帰 帰 帰 帰

中心
家
家(3) 家(明) 家(教)
筆順
※はらいの方向に注意して
左右のつりあいをとる
中心にもどる
中心から書いて
中心にもどる

兄
兄(3) 兄(明) 兄(教)
筆順
ひっじゅん
一 口 口 兄 兄

「家」の組み立てに気をつけて書きましょう。

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	が	果	地
	目	を	区
	標	全	予
	で	部	選
	し	出	で
	た	し	練
	。	切	習
		る	の
		こ	成
		と	
	六		
	三		
	山		
	優		

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	考	物	共
	え	事	通
	る	を	点
	働	ま	を
	き	と	見
	の	め	つ
	一	る	け
	つ	こ	出
	で	と	し
	す	が	
	五		
	安		
	田		
	愛		
	子		



〈筆順〉
切(キ)切(明)切(教)
〈許容〉
切(私)切(折れ)



点の位置
成(ミ)成(明)成(教)
〈筆順〉
成(成)成(成)



中心
習(ミ)習(明)習(教)
点の方向
大 小
〈筆順〉
習(習)習(習)

字形を整えて、ていねいに書きましょう。
文字の組み立て



働(ミ)働(明)働(教)
三つの部分の組み立て
方を考えよう



中心
事(ミ)事(明)事(教)
長く
一(一)事(事)事(教)
〈筆順〉



中心
点(ミ)点(明)点(教)
点(点)点(点)
〈筆順〉
点(点)点(点)

文字の外形を見て、形を整えましょう。
ハ(れっか)の点の方向に注意

〔7月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支 部 名	酵母パンが見直されている。 ものを求める人々を中心に天然 近頃は、安全で健康によい
段・級	
学 年	
名 前	
松本小雪	

支 部 名	酵母パンが見直されている。 ものを求める人々を中心に天然 近頃は、安全で健康によい
段・級	
学 年	
名 前	
松本小雪	

然
h 行書体

然
然
然

「れっか（ハ）」の行書には、「四つの点」に連続線をつけたものから「三つの点」に省略したもの、更に全部つづけてしまうものまでいろいろあります。

・行書のワンポイントアドバイス

見
見
見
見
見

酵
酵
酵
酵
酵
酵
酵
酵

中心
安全で健康によい
行がゆがまないように、整えて書きましょう。

これからの作品締切日と課題

令和7年8月号～8年1月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
波打ち際	湖畔	道路	思いやり	寺院	青	こかげ	ろ	8月3日	8月
<small>ぬりたてか 青蛙 おのれもペンキ</small>	異口同音	大空の旅	海底	美しい	中心	ハム	にじ		
三筆	遣唐使	美術	列車	平行	月見	やさい	ま	9月7日	9月
平安の	無我夢中	くりの実	読む	虫のこえ	光る	おんぷ	ふえ		
秋の夜長	有徳	庭園	青空	考える	水玉	このは	ら	10月6日	10月
ぐも	<small>(集字) 孔子廟堂碑</small>	気配り	里の秋	風力	ランプ	もみじ	きく		
漢和辞典	運河	街角	ちぎれ雲	葉	点	あかり	ひ	11月4日	11月
くれ	<small>(集字) 孔子廟堂碑</small>	現代の書	野原	赤い実	火山	リズム	そら		
知る	海月	ブランド	冬山の朝	詩人	マウス	まほう	お	12月3日	12月
字源を	<small>(集字) 集字聖教序</small>	誠実	理想	もみの木	森	ひなた	かぶ		
かな	しぐれ								
白雪紅梅	神秘	湖水	働く	毛筆	馬	てがみ	さ	1月5日	1月
しらゆき	<small>(集字) 集字聖教序</small>	事始め	福笑い	星の光	大会	へいわ	うま		

8月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1
びをき
しまし
ました。
う、は
な

小2
した。
大きな
花火を見
ま

小3
ストが
あります。
午後
は、国
語のテ

小4
ランヘ
プ久
をしふ
しまぶ
した。りに
ト行き、友
家の

小5
力でお
で湯を
電気わ
をつか
つくし
る。そ
のし

小6
心が足
が感や
伝や来
わ来年
ってへ
き期待
ますする
満

中学生
に岬の
向果て
かっての
導断崖
くよにを
ように光
を放つ
灯台に

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第100回 石碑建立物語9

ようやく刻し終えた記念碑一式は、大川石材の大川社長自ら運転するトラックで、碑が制作された香川県高松市牟礼の工場から東京築地まで厳重に梱包・運搬され、令和六年六月二十七日木曜日の朝、建碑する築地本願寺に到着した。まだ梅雨時なので天気が一番心配された。もし雨なら、石が作業中に滑りやすくなるので安全確保のため設置は延期となっていたが、幸い運よく晴れ渡りとても安堵した。朝八時に私が現地に着くと、すでに同寺境内の設置場所付近には、(株)ジョウコウの鈴木さんのお手配により、碑を建立するため建造されたコンクリートによる基礎工事はできていて、



▲基礎工事のコンクリートの場面上に台石を載せている場面

この上に庵治石の台石(四つに分割され一組となる)と、碑石本体をうまく載せればよいように準備されていた。四角い形をしているコンクリート基盤は、碑石を載せると見えなくなるが、とても重要でしっかりとした業者が

▲大型クレーンで台石を吊り上げ運んでいる場面



ところまで移動させる大型のクレーン車も待機していた。朝九時ごろから設置作業が開始され、運び込まれた碑石のパーツの梱包材を一つずつ剥がして、石に熟練した技で石に傷が

つかないようにロープを巻きつけ、そのロープを掛けるクレーンのフックとの平衡バランスをしっかりと整え、ゆっくりと大型クレーンで吊り上げ、移動させる作業が開始された。総重量が4トンほどあるので、途中でロープがほどけたら滑り、地面に落ちてしまったり損傷は欠けるだけでは済まない。一巻の終わりとなる



▲金属棒を入れている場面

ことが予想される。よって、慎重のうえにも慎重に作業が行われた。一般的には記念碑の場合、「台石」と「碑本体」の間に「ゴム板」を挟んで、碑石がずれないようにするだけとのことであったが、ゴムの劣化の速度は石と比べたならばるかに早いので、これでは、「千年そのままの姿を保つ石碑」とはならない。よって碑石本体の底の部分を凸形に削り、これがちょうど載せる台石の上半分に凹形の窪みをつけ嵌め込む形にしていた。かつ台石・碑石の両方の中央中心部に穴をあけ、碑石のズレ防止のための金属棒を入れてしっかり補強していただいた。碑石本体は厚くしたが、いつ起こるかかわからない大地震で、碑石がずれたり倒れたりしないための防止策の一端であった。この日のみで設置は無事完了。同日夕方四時頃に本学財務部の井上部長立ち合いで、正式に記念碑の設置完了を確認。除幕式開催予定の七月十日水曜日まで石碑全体を白い布で覆うこととなったのである。



▲碑石本体を吊るし、台石に嵌め込む作業場面

設置は無事完了。同日夕方四時頃に本学財務部の井上部長立ち合いで、正式に記念碑の設置完了を確認。除幕式開催予定の七月十日水曜日まで石碑全体を白い布で覆うこととなったのである。

今月のホープ



小六 宇佐美 咲人 (高根会)

紙一杯に堂々とした書きぶりです。確かな筆の運びは伸びやかで明るく、どこか柔かい表情もにじみ、人柄が窺えます。



小四 谷本 彩綺 (楊書会)

黒々と伸びやかな作品です。特に右ハライの運筆が雄大で見事。文字が魅力ある表現となり素晴らしいです。

支那名	ぜん
段・級	
学年	中三
氏名	森田沙葉

よく使われました。

まの「は夜の枕詞です。和歌で

「くさまくらは旅、「ぬばた

中三 森田 沙葉 (ぜん)

構えが大きく、豊かな運筆とリズムも素晴らしい一貫性のある良い作品です。終筆の処理も心がこもり温和で見事です。

支那名	かな	む
段・級	な	こ
学年	夕	う
名前	や	の
	け	空
		は
		ま
		つ

小二 関口 湊人 (紅葉書塾)

漢字・ひらがなともに一字一字が丁寧に書かれています。バランスもよく見事な作品に仕上がりました。

幼・1年

ろ
うえだりん

にじ
小一大空ひかり

2年

げこか
小二 かいまき

ハム
小二 山木ゆり

3年

青
小三 上田友子

中心
小三 千田友子

4年

寺院
小四 島田 希

い美し
小四 田中美恵

5年

や思りい
小五 土田洋子

海底
小五 山川芽衣

6年

道路
小六 黒田春香

の大空の旅
小六 山下久

中学

湖畔
中三 桜井真

異口同音
中二 山田大介

波打際
中二 田中千星

青蛙
おのれもペンキ
ぬりたてか
中三 佐藤太郎

編集余録

○春季昇段級試験の審査が終了しました。今年も大変多くの出品があり、審査員の先生方で「一点」点丁寧に審査しました。「合格証」は団体の先生宛にお送りしますの
で、楽しみにしていってください。

○月例審査で写真版に掲載したい作品がありました。残念なことに、漢字の書き間違いや、課題違いがありました。作品を提出する際、もう一度自分の作品をよく見直してください。また、毛筆硬筆ともに名前まで気持ちを切らさず丁寧に書いてください。硬筆の作品は、消しゴムを使わないよう努力しましょう。

○私の地元の千葉市にある「千葉市動物公園」が、今年4月で開園から40周年を迎えました。

千葉市動物公園といえば、背筋をピンと伸ばし、2本足で立ち上がる姿で全国的に人気となった、レッサーパンダの「風太くん」がいることで有名です。風太くんも今年7月に22歳を迎え、国内に生存するレッサーパンダで最高齢になるそうです。ひ孫も玄孫もいる風太くんですが、現在は歩くのもゆっくりで、立ち上がることもなくなりましたが、のんびり穏やかに過ごしているそうです。

今年8月に千葉で行われる、書道芸術院の単位認定講習会では、千葉市動物公園の園長を務める鈴木一誠さんの講義を予定しております。どんなお話が聞けるのかとても楽しみです。

(悠輝)